

お母さまからの声

鶴田先生へ

この5年間、Jを指導、見守っていただき本当にありがとうございました。やる気のない時も、連絡などでご迷惑をおかけしたこと多々あったにもかかわらず、いつも寄り添っていただきました。そしてJのこと、知らずにいる母にたくさん情報をいただきました。Jが毎年進級し、無事卒業、進学できる。何より、自分がやりたいことを見つけられたのは、鶴田先生のおかげです。

Jは先生から初めて指導に来ていただいたあたりに、家出（主人の実家へ）したのですが、私は大きく見てあげられない。良さを伝えて励ましてあげることのできない、そんなダメな母親でした。だから、Jは自信を持たず、安易な方に流れていたのかもしれない。

この一年、Jにとっては試練の一年だったと思います。でも、打ちのめされながらも、何とか最後までがんばることができたのは、先生のおかげです。そして、コウルの皆さんの。コウルの皆さんとJをつないでいただいたおかげで、Jには、大事な大事な居場所もできました。

鶴田先生は、Jの人生の恩人です。先生との出会いがなかったら、Jは本当にどうなっていたか……。自分のことを話し、相談できて、アドバイスをもらえる。しっかり教えていただきました。感謝してもしきれないほどです。本当にありがとうございました。

進学しても、どうぞこのまま、人生の師としてJを導きください。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

母より

鶴田より

Jくんと初めてお会いした日のこと、今でもよく覚えています。高1の夏休みが終わる数日前、数学が全くわからないと宿題が手つかずで、それでもどこか焦っている様子は見受けられず・・・彼はどこか自信がなく不安げな表情で、例えるならば全てを諦めてしまっているようにも感じられました。

そんな彼が大きく変わるきっかけとなった出来事がありました。それは人と人の間で深く傷ついた経験です。それまではどこか、私にも壁を作って接している様子でしたが、その頃から、自分が思っていること、考えていることを私にたくさん話してくれるようになり、アドバイスを求めてくるようになったと思います。彼は他人のことをよく知ろうとした結果、自分自身とよく向き合うようになりました。

そんな辛い時期を乗り越えてからは、私と共に街に繰り出すことが増えました。美術館に行ったり、ライブに行ったり、気になる大学の見学にも行ったものです。それまではっきりとした「将来やりたいこと」がなかった彼が、自分のことをよく知ろうと、興味のあることや人に向かって自ら動いていく過程の中で、彼は自分のやりたいことを見つけることができました。

高専4年の終わり頃、それまでの成績とにらめっこしながら、Jくんの中には「自分が大学進学していいのか。」という葛藤があったように感じました。自分にはその資格があるのかと思っていたと思います。ですが、結果的に彼は自ら茨の道を選び、英語を0から学び直し、1年間毎日教室に通って、それはまるで修行僧のように見えるほど、必死に勉強。自分がやりたい教育学を実現するために、一般受験で大学受験に臨み、見事！教育学部の合格を手に入れたのです。

今ではすっかり精悍な顔つきに変わったJくんを見ていると、あの日の、自信がなかった頃の彼の顔を思い出すことがあります。そしてあまりの変化に私はハッとするとともに、毎度感動で目には涙がたまってしまいます。

「自分の人生に責任を取れるのは自分だけ。」

大学生になった彼と話していたときのJくんの言葉です。逞しく大きくしなやかに成長しました。Jくんのこれからがとても楽しみです。

お母さまからの声

淑子先生

淑子先生はいつもMの気持ちに寄り添ってくださいました。

Mの心に足りていないものが何なのかをキャッチして、栄養を吸収できる環境を整えてくれました。だからこそ、Mは素直な心でどんどん知識を吸収して大きく成長することができたのだと思います。

そして、親では教えきれないこと、人として大切なことは何なのかを授業を通して教えてくださいました。

「自分を大切にすること」を身につけたM。そしてコウルで出会った仲間たち。

自分を大切にしているからこそ、周りにいる大切な人をちゃんと大切にできるんですね。だからみんなとても仲がいいのだと思うのです。

Mはどんなに部活で疲れていても、「コウルには絶対に行く」と自分から支度をしてコウルに向かったものでした。

先生に会うと、こうるに行く元気になるからなんだと、終わって車に乗り込んでくる表情を見て感じていました。

Mは目標に向かって、コウルで勉強と社会性を同時に身につけることができたと感じています。

足掛け6年。本当にお世話になりました。本当にどうもありがとうございました。

鶴田より

Mちゃんとの出会いは、Mちゃんが中学校一年生の夏休み。英語が苦手で、短期集中のレッスンを受けてくださったところからが始まりでしたね。Mちゃんがこれから先、もっと幸せに生きていくために身につけてもらいたかったもの、それは「思っていること、感じていることを人に伝える」というものでした。学校の授業がどこまで進んでいるのか毎回確認するのですが、本当はわかっているのに言えない。ここわかった？と聞いても、はっきりと「はい」「わからない」とも言えず……。ただ、おやつの時だけは自分の希望をはっきり言えるというところがものすごく可愛かったです（笑）

授業のたびにMちゃんがちゃんと言葉で自分の考えを言えるようにと、私はMちゃんが言葉で表現できるまでただひたすら「待つ」ということを繰り返しました。トレーニングの成果が少しずつ少しずつ現れてきて、中学3年生の頃には自分の考えを他人にも言えるようになっていきました。

そんなMちゃんが大きな飛躍を遂げたのは、高1の春。厳しい部活に入って、その辛さに耐えかね、一瞬不登校になりました。そのときに、学校や部活は休みながらもコウルにはしっかりと通って下さり、思っていること、感じていることをさらけ出してくれました。結果を求められる世界に身を置き、自分の中に生まれた苦しさや葛藤とも上手にお付き合いする、一生使える術をMちゃんは身につけていったと感じています。ひとことで表現するならば、Mちゃんは強くなった！そしてお母さんも共に強くなっていった！と私は感じておりました。

さらにMちゃんとの思い出を挙げるならば「性教育」です。性の話は避けるご家庭が世の中に多いと思います。高校生になったMちゃんと私は、よく性の話をしておりました。そんな積み重ねがあっただけか（?!）Mちゃんはお母さんとも性の話をオープンマインドでできるようになったと伺っております。これはとても素晴らしいことです。これはお母さんが日頃から、どんなMちゃんでも受け止めていたからこそだと思います。不断の努力の賜物です。

時間はあっという間に過ぎ去り、コウルでの卒業式を迎えました。Mちゃんがスピーチ開始直後に大泣きし、私はMちゃんと出会った日のことを思い出しました。感情を人前で表現することができなかったMちゃんが後輩たちの前で大粒の涙をこぼしています。そしてMちゃんが最後に言ってくれた言葉。「私は淑子先生みたいな、カッコいい大人になります。」涙をこぼしながら、伝えてくれたあなたの姿を、私は生涯忘れません。

Mちゃん、お母さん！また元気にお目にかかれる日を、心から楽しみにしております。お互いに、健やかに笑って参りましょね。

お母さまからの声

鶴田先生

先生、T、志望校内定をいただきました！全て先生のお力添え、ご指導があったからです。
どうもありがとうございます。

先生に出会って、Tは変わりました。そして私自身も先生に出会えて変わることができたと感じています。

内定をいただいたこと、Tは今日、先生とちゃんと顔を合わせて、自分で伝えたいと言っていました。
先生にちゃんと感謝の気持ちを言葉にして伝えることができたでしょうか。

鶴田先生、本当にありがとうございました。

そしてこれからも、Tのことをよろしく願いいたします。

鶴田より

Tくんは中3の夏休みに入った頃。1歳上の野球部の先輩の紹介でコウルに入塾されました。野球部を引退したばかりで、受験に向けて勉強したいけど、勉強が嫌いだからなんとかしたいという状態でした。初回の面談時に私が感じたことがありました。Tくん、大人に対してものすごく不信感を持っているように感じたのです。レッスンは始まってからは、授業に遅刻してきたり、宿題をしなかったりと、そんな出来事が続いたことを覚えています。やる気がないのではなく、「お！これは、たぶん私のことを試しているのかな？」私はそう思いました。そこで、Tくんに話を聞いてみると、学校の先生から冤罪で叱られてきた経験が多く、無実を主張しても犯人扱いをされてきたというのです。学校の先生に対して、多大なる不信感をお持ちでした。そこで私はTくんと早急に信頼関係を築くべく、勉強の合間にコーヒーを淹れて、おやつと一緒に食べながら、おしゃべりする時間をたくさん取るようにしました。

Tくんに変化が訪れたのは入塾から1ヶ月経ってからのことです。初めてTくんから「弁論大会に出るから、先生から表現の指導をしてもらいたい。」と自分がやりたいことを私に伝えてくれました。声の出し方、トーン、間の使い方、表情、ジェスチャーを伝授し、迎えた本番前日。最終練習段階でもTくんは研究熱心で、とても真剣。表現者「T」は非常にカッコ良かったです。またこの頃に、お母さんには内緒でこっそりギターを買ったんだと教えてくれました。時を同じくして、お母さんもコウルのストレスケアセミナーに参加して下さり、簡単にできるストレスケアを勉強してくださいました。ご家庭でも実践して下さり、Tくんにご自身のケアに役立てて頂けたことと思います。どうもありがとうございました。

月日は流れ、1月を迎えました。勉強を進めながら、高校受験に向けて作文の練習と面接のトレーニングが始まりました。表現するということにかけては私は非常に厳しいのかもしれませんが、見せかけや借り物の言葉はすぐに見透かされるもの。Tくんが自分自身のことをよくわかっていないと、彼の中にある本物の言葉は出てこないからです。トレーニング中、Tくんは私のことを「鬼」と呼んだこともございました。（笑）それでも鬼ババアの熱血指導に、Tくんはちゃんとついてきてくれました。

「自分に嘘をつくことは結果的に自分を傷つけることになります。人からどう思われるのか怖がらずに、真っ直ぐに自分の思いを伝えることは非常に大切なことです。相手がどう捉えようが、伝えることが一番大事。」そんな話をTくんに繰り返しました。

Tくん。高校入試を見事パスし、高校生になりましたね。野球を続けるためコウルはいったん卒業しましたが、毎週私に連絡をくれます。Tくんにとって信頼のおける大人の一人になれたのかなと思うと、とても嬉しいです。Tくんもお母さんも、是非また教室に遊びに来てください。そして野球の試合時、頭にタオルを巻いて、サングラスをし、日傘を差している変なオバサンがいたら、それはズバリ私です。先輩のHくんみたいに、見つけたら大笑いしてください。よろしく願いいたします！

お母さまからの声

鶴田先生

指導の最終日、ごあいさつに伺えなかったのでお手紙を書きます。
これまで親子共々、大変お世話になり、どうもありがとうございました。

Aはわがまま気分やで、それがもろに勉強に影響し、全く進まず、先生に歯痒い思いをさせてしまいました。今までこんな子はいなかったはず・・・。

勉強以外では一度眠ってしまうとなかなか起きないAを起こすために家まで迎えに来てくださったり、たくさん相談に乗っていただいたり、先生にはあらゆる面でフォローしていただき、本当に助かりました。どうもありがとうございました。

これからも先生のますますのご活躍を楽しみにしております。

また子供たちが、先生のところに邪魔させていただくと思います。その際にはどうぞよろしく願いいたします。

これまで本当にありがとうございました。

お母さまからの声

鶴田先生

先生。嬉しいご報告ができます。M、第一志望の大学に合格できました。

先生に中学生の頃から勉強を見てもらい、私自身まさかと思う嬉しい結果です。ここまで諦めずに来て本当によかったと思います。部活引退後は先生のご好意に甘え、教室に行ったり行かなかったりしたこともありましたが・・・！本人なりに努力して、ここまでがんばってきたのだなと思っています。

先生にはR、M共々本当にお世話になり、どうもありがとうございました。

(R、東京で元気に働いております！)

先生、これからもどうかたくさん生徒さんたちに寄り添って行ってください。応援しています。

お母さまからの声

よっちゃん先生

コウルのみんなに助けられ、みんなの努力で合格できたこと、とても嬉しく思います。
たくさんの時間をRに費やし下さり、その結果の合格。本当にありがとうございます。

と同時にもし大学に落ちたとしても、それはまた違う可能性が広がるとも思っていました。

呑気な親です・・・！

おまけに受験前夜に私が体調不良となってしまいましたが、そんな中、第二の母（よっちゃん先生、実姉）、
兄弟（コウルのみんな）、コウルがRの隣にいてくれて、本当に良かったと感謝しかありません。

大学に合格し、今は新芽の状態です。

調子の乗るとその新芽、すぐに枯れてしまうぞと、Rには釘を刺しておきました！

3月までコウルには今までどおり通う予定です。

引き続きよろしく願いいたします。

お母さまからの声

鶴田先生へ

コウルはこどもはもちろん、私たち親も、子供が自分の人生を自分の足で進んでいくことができるために、どういう姿勢でいるべきなのか、親としての在り方を学ぶことができる場所だと感じています。

それぞれの家庭で親御さんも、様々な想いで大切に自分のお子さんを育てていらしゃったと思います。私もそう思っていました。が、コウルに娘が通うまで、自分が娘の想いを引き出せていなかったことに気づくことができませんでした。

鶴田先生と出会い、親としての在り方を学び、今の娘と私の関係があるのだと、心からそう思っています。

親が子供を自分の所有と思わず、「一人の人」として個性を認め、受け入れる。
このことが、これからの彼女たちの人生の土台になるのだと、今はとてもわかります。

もしこの手紙が誰かの目に映ることがあるならば、読んでくださった親御さんにこの想いが少しでも伝わってくれればいいなと願っています。

お母さまからの声

鶴田先生

これまで学校の先生方には「息子と関わる子には息子の特性を話して、気持ちをあおるようなことは言わないように伝えてもらえませんか？そうすれば、息子も暴れたりしないと思うので！」とお願いしましたが、「伝えても理解するのは中々難しいから近づかないで距離を取るのが一番です！」と言われたこともありました。ずっと腑に落ちないモヤモヤした状態でした。

・ ・ 中略 ・ ・ ・

学校の先生から「伝えても理解するのは難しい」と言われた言葉、それはお互いの信頼関係と伝え方だと思いました。

なぜなら、コウルメイトはたった1時間ちょっとでちゃんと鶴田先生の話を理解して、とても素晴らしい考え、思いをきちんと言葉で発言できていたからです！

コウルメイトの言葉を聞いて私は号泣でした。すごい学舎だなと思いました。本当にみんなの言ってる通りだと感心しました。

私は今後も息子の様子を確認しながらサポートし、見守ります。

後は、彼の努力と感情をコントロールする強い意思が必要なんだと思います！

3歩進んで2.5歩下がるで、1歩ずつとは行かず少しずつになると思いますが、確実に前へ進んで行ければと思います。

引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

【コウル夜部活にZOOMで参加後のご感想】

夜分に失礼します。

先程はありがとうございました！

本当にみんなが生き生きしていて、鶴田先生とコウルメイツのみなさんの信頼関係もすごく伝わってきて感動してしまいました。今回先生を努めた2人の熱、発信力にも驚かされましたし、聞いているみんなも興味を持って熱心に聞いている姿が、とても印象的でした。きっとコウルメイツの皆さんが、日頃からこういったコミュニケーションのやりとりをしているからこそその発信力なのだと思います。そしてみんなの会話のやりとり、キャッチボールが有機的に働いて、この空間にいることがみんなにとっての成長につながっているんだろうなと思いました。

お互いを認め合って、相手を理解しようとする姿勢を感じ取れました。今度は是非、直接お会いできたら嬉しいです。本当にありがとうございました！引き続き、よろしくお願い致します。